

## シリーズ2、庭木に利用する樹種の特徴と管理 (8) —サルスベリ—

日本樹木医会富山県支部  
樹木医 西村 正史

夏、長い期間に渡って紫紅色や白色の花を咲かせて私達を楽しませてくれるサルスベリという花木があります。中国南部原産の暖地性の花木ですが、耐寒性があるため、県内でも庭木等として植栽されています。

### 1. 特徴

この花木は、7～9月に今年伸びた枝の先端に円錐形にかたまって花を咲かせ、高さは3～7m程度になるので、遠くからでもよく目立ちます(写真-1)。うちわ形の花びらには、ちりめん状のしわがあります(写真-2)。長い間花を咲かせるので、百日紅(ヒャクジツコウ)という別名でも知られています。淡紅褐色の樹皮は薄くはげ落ちて、より淡い色となり、滑らかな肌となるので、非常にきれいで、花とともに観賞の対象になっています(写真-3)。

最近では人間の背丈以下の矮性品種(写真-4)も出回っており、狭い庭や高さが制限されている庭に適しているものと思われます。

### 2. 維持管理

毎年大きな花をたくさん咲かせるためには、落葉後に堆肥と緩効性の化成肥料を土壌にすき込みこむか埋め込んでやる必要があります。是非とも実行してください。

ところで、サルスベリは、大きくなるにしたがって自然に樹形をつくりませんが、冬期に太い枝を剪定してやると、そこから新しい枝が出て大きな花をたくさんつけます。逆に、細い枝を剪定してやると小ぶりの花がたくさん咲くよう

になります。また、日当たりの悪いところや痩せ地に植えると、花は小さくなり、花の数も少なくなります。このような場合には、堆肥等を土壌に十分すき込んで、肥沃な土壌にすれば、花の数も多くなり花の大きさも改善されます。

この花木は病虫害には強いのですが、うどんこ病、アブラムシ類、カイガラムシ類が発生する場合があります。うどんこ病では発生初期にトップジンM水和剤の1000倍液やトリフミン水和剤の3000倍液を、アブラムシ類ではスミチオン乳剤の1000倍液やアディオン乳剤の4000～8000倍液を、カイガラムシ類ではスプラサイト乳剤の1000～1500倍液やカルホス乳剤の1000倍液を、それぞれ散布してください。

なお、掲載した写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



写真-2 紫紅色の花(左)と白色の花(右)  
(どちらも、2011.8.4 撮影)



写真-1 サルスベリ (2012.8.16 撮影)



写真-3 滑らかな樹皮  
(2012.8.16 撮影)



写真-4 矮性品種  
(2012.8.16 撮影)